
カオスにも程がある大破壊後

折れた砲塔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カオスにも程がある大破壊後

【Nコード】

N1350Y

【作者名】

折れた砲塔

【あらすじ】

大破壊後の世界で集落に引きこもりながら生活する。偶に外に出てもやっぱり車の中に引きこもる。そんな一人の転生者の生活録です。

かなり不定期かつ駄文です。

一話目（前書き）

やって見たかったから投稿。
後の黒歴史である。

一話目

「おう、おっさん。今日のお勧めは鶏肉かい？」

「悪いな、今日は魚料理なんだ。トレーダーが珍しいの持ってきてくれてね」

「うーん、汚染合成肉じゃないから良いんだけど、余り酒には合わねえんだよな。偶には汚染されていない鳥がツマミで食べてえな」

「今日は無いけど明日なら用意できるよ。全く、この世界での最大の贅沢を軽く言ってくれるな。まあ、そんな事も言えるのもアンタ等が守ってくれる地下プラント様様だよな」

「全くだ！お陰でやり甲斐のある仕事も有るしな。ハッハッハ」

「精々俺と地下プラントをシッカリ守ってくれよ。その為ならお通し位タダで出してやるからな」

「安心しろい、衣食住確りあるこの仕事は気に入っているんだ。俺だけでなく仲間も皆同じ気持ちだぜ。だからぶつとびハイも序でにタダで出してくれよ」

「余り調子にのるなまったく。まあ今日は守ってくれたしつと、ほらよ焼きアメーバだ」

「お、太っ腹だねー。こりやお勧めは相当いいもんだな、期待し

てるぜ」

マスター生活も随分と板についてきた気がするな！。

この狂った世界に送り出されてもうすぐ一年、最初はどうかと思っただが今は随分と馴染んできた様な気がする。

運送中に事故で崖から転落をし、死を実感して「ああ、次の人生は健康な体になりたい」と思いながら意識を失い……

気が付いたら素っ裸でカプセルの中に横たわってた。

最近の医療技術スゲーとか思いながらこっからどうやって出るんだと悩んでいたら、突然カプセルが開いた。とりあえず外に出て下着を探したら、部屋には大型のパネルとコンソール、それに手書きのノートが一冊あるだけだった。

下着が欲しくてナースコールしようと思ったらそれらしいのは存在しない。ベットの中か？とまたカプセルの中に入ると突然閉まりだし、いい歳したおっさんが裸で喚くという新しい黒歴史を生産するハプニングにも見舞われたが、とりあえずシーツを体に巻き裸か

らは脱却した。

外に出ようにも扉はロックされたままなので出れないし、そのうち誰か気付くと思い手書きのノートを見てみた。ノートの中身はなんとというか……「ありえねー、嘘だろオイ」と読みながら何度連呼したか解らないほどの内容だった。

曰く、神様のミスで殺した事。転生しか方法がなく別の世界へ送った事。強い体を望んでいたから該当するモノにした事。特典として生きられる環境の所に送った事。忙しいのでこの形式を取ったとの事。この世界の事。今の状況の事。

まあ、死んでしまった事は諦めるとして、健康体も望んでいたからむしろ有り難い。とりあえずいじり方が頭に入っていたのでコンソールをいじって見ていたら、おっそろしい者が見えたのと同時にこの世界が解かったよ。しっかしなあ、いくらなんでもこの世界は無いよ神様……なんでよりによってこの世界なんだ……

なんでメタルマックスのゴメス山賊団やバイアス・グラップラー
と克蘭・コールドブラッド、それにメタルサーガのG O R O ・ s
とミュート族と一緒にヒヤッハー！！やってんだよ！！

メタルマックスとメタルサーガが一緒になった世界ってカオスに
も程があるだろオイ！！

絶対に第二の人生は早死確定だよ!! 誰か助けて下さい!!

二話目（前書き）

昨日投稿して又投稿。

ネタは有っても文才は無い。

メタルマックスは略称MM、MM2、MM3

メタルサーガは略称MS、MS2、MSNFで行きます。

二話目

「この世界で生きられる自信が全くねえよ……」

外の映像を確認して改めて思った。いや、なんで敵方集団の混成部隊が形成されてるのかもわかんねえけど、よりによって襲っているのが賞金首扱いだったスナザメ（MM2 / 3）やインペイラー（MSNF）の群れなんてお前等強過ぎるだろ！！って突っ込みまったし。

とりあえず神様が書いたノートを再度読みなおして今の状況を確認したところ、今いる施設内なら安全であるとの事なのでコンソールを又いじくって、この世界の事や周辺状況を確認して見る。

メタルマックスやメタルサーガの世界ならばアレがいるのかの確認しないといけないだろうと、まず始めに今現在までの世界情報の記録を見てみた。

記録によるとこの施設はノアシシステムに汚染されていないことが確認され、またノアの反応も無いことが判明した。つまりMM1よりは後の世界だということが解かった。とりあえず施設の暴走は無いものと思われる。

良かったー、本当に良かったよー。ノアシシステムに汚染されてそのまま抹殺されたなんてせつかく命拾ったのに意味ないし。

次に現在位置と地図の確認を行った。現在はビルの地下深くに有

る生産プラントの中央管理室らしい。どうやら神様の特典で作られた原作には無い施設であるという事らしい。ヘルプの項目に神様からの文章書きが入っていた。他にも神様謹製の施設が複数有ると事らしいが外の世界がヤバイので此処から出る気はなく、とりあえずほっとく事にした。

世界地図は全部表示されているのではなかったが、一部表示でも施設周辺や他の地域も確認できた。どうやらMM3の川から西側と北側しか表示されないが、46億年タートルトレーダー西の廃墟群のビル地下が今の位置らしい。って合わせただけで画像が出るってすごいな。

他の地域も確認出来ないか弄ってみたところなんか見たこと無い施設を発見、マップ北西のデスベガスより北に橋が掛かっている。確かここが北限だからなんかおかしいとマップを更に北に合わせて確認してみた所、MMで見たこと無い地形が見られたって……

なんでMSNFのグレートウォールに繋がってるの？しかも賞金首のシルバーボア(MSNF)が群れでハンター襲ってるし！！

あ、戦車吹っ飛んだ。

本当にこの世界はヤバイわ、どうやってこれから生活しよう。

とりあえず現在の状況と位置は確認したから、次は周辺の確認と施設を調べ終わってから考えるか。あと服も探さないと。

三話目（前書き）

3日連続投稿。

明日は夜勤だから投稿出来無い。

文才と記憶力が欲しい。

主人公の名前は少し先。

携帯のMSはやってないので登場しない予定。

三話目

「アレはハンターが哀れすぎるわ……」

映像を見てしみじみと思った。戦車って山なりに吹っ飛ぶものなんだって……

いやオカシイよね！！絶対おかしいよ。何十トンも有るMBTが山なりに飛んで行くななんてありえねえよ！

絶望感を増加させた世界地図の確認作業を終わらせてから一息ついて、嫌な予感がすっごいするけど周囲の状況を確認に入ろう。そうしないとこれから先のことも考えられないし。

グレートウォールに合わせていたカーソルを現在位置周辺に合わせて様子見する。ビルの廃墟が立ち並んでいるが、確かこの廃墟って唯の瓦礫群だった気がするけどまあいいや、どうせ神様特典なんだから気にしない方向で行く。

一棟のみ単独で建っている施設が入ってるこのビル周辺にモンスターは今は居ない。次に比較的ビルの痕跡が残ってる向かいのビルを確認する。上部の崩れてる部分にいていさつUFO（MM、MM2、MM3）が3体ほど居るが他は見られない。

なんだ余りいないじゃん、ていさつUFOならすぐ逃げるし問題

ないじゃん、と思いつつ向かいのビルの左側の瓦礫に合わせてみた。

うん、さっきの気持ちを返してくれ……

スローウーカー（MM3）が十体くらいで日向ぼっこ中でやんの。あと名前忘れたけど掃除機と蛇の間の子（バキウムマンバMM3）が五体位寝てるし、更にびんかんバニー（MS）がびんかんバニー（MM2）に跨って複数走る回って居やがる。こりゃ真の意味で裸一貫装備無しの俺は外には出れんな。

とりあえず外に出る考えは放棄して、今現在居る施設について調べよう。

生産プラントで有ることはさっき軽く調べて分かったけど、具体的に何を作っているのかも調べないといけないな、それに中央管理室内に有る物も調べないと。ということでは解らないけど使用方法が頭に入っているので調べてみた。

まずはプラントについて調べたけど、どうやらこの施設は食料品及び嗜好品生産プラントだった。水、穀物、野菜、魚、食肉、調味料それに酒。更には戦闘糧食まで生産して有る。神様特典スゲーよこれ。しかも地下水の汚染除去もしているらしく食料に汚染が全く無し。

ノートに書いてあった生きられる環境の所に送ったの理由が解かったよ。

次にプラント内の就業員施設について調べる。どうやら中央管理室内のカプセルはサイバーウェア用調整カプセルとの事だ。つまり俺の体はサイバーウェアだということになる。設備の使用方法が解ったのも納得だしノートにあった強い体って言えばその通りなんだが、実際問題としてどれ位強いんだろう？賞金首のレッドフォックス（MS1）や仲間キャラのアルファ（MS1）と同じ体だけど、生産プラントに有るって事は戦闘用じゃ無さそうだしな。生前の喘息や食品アレルギーが無いだけでも有り難いんだけどね。

あと重要なのは従業員証というかマスター登録というべきアイテムの発見だった。コンソールの脇にある腕時計型のBSコントローラーがそうらしいので登録して装着する。布巻きに腕時計という変態一步手前の格好だが、これで扉が開くし警備システムにも引っかかるなくなる。

そしてとりあえず中央管理システムを切り上げて、部屋から出ることにした。いや、服が欲しいのよホント。いい加減なんか服着たいし、警備システムも見てみたいしということ、やっこの思いで部屋から出た。んだが……やっぱこの施設もヤバイわ。

扉に賞金首の零九式安全神話（MS2）が組み込まれているわ口ポポリス（MM）が何体も歩いてるわですっげえ怖いよ！！

BSコントローラー外したら襲って来るのかな……マスター登録してるから大丈夫だよね？

不安だ……そして早く服が欲しい。

四話目（前書き）

お気に入り登録をしてくれた方や感想を書いてくださった豚角煮様、
このような駄文に態々有難う御座います。

ネタか文章が頭から無くなるまでは頑張らせて頂きます。

夜勤の仮眠中に文章出し。

やはり文才が欲しい。

仮眠時間が無くなった。

夜勤明けで眠いのに打込。

文章に不安が残る。

四話目

「襲つてこないって解つていてもやっぱり怖ええなー」

とりあえず中央監視室から出て就業員用施設の探索の為、廊下を歩いているんだが……後ろからは扉の上にある零九式安全神話（MS2）の目が常に視線を合わせてるし、ロボポリス（MM）はすれ違う時にチラ見してる感じに動くし、かなり心臓に悪い。

20m位歩いた所で扉発見、プレートに【生産プラント監視所】と書いてある。扉には零九式安全神話もきっちり組み込まれているしでやっぱり怖い。入ろうかと思つたがまずは服を探すことにして後回しに、又廊下を歩き出す。

今度は数分歩いて【就業員諸室】のプレートが書いてある扉を発見、扉を開けようとするが開かない。マスター登録したのに何で？と思つていたら扉の横にカードリーダー発見……

ICカード持っていない……

どうやら警備システムが組み込まれていない扉はカードキー式のセキュリティらしい。仕方ないので此処の扉を諦めて、警備室を探すことに。

この施設を歩いて思つたのだが、【就業員諸室】から扉も見当たらず分岐が無い、唯一本道の通路が続いてる。複雑に成っていないことは有り難いのだが、防災上の理由なのかそれだけプラントが広いのか。広さだとすればかなり大規模な生産プラントだろう。

俺一人には持て余す施設だわ。

距離も解からない位歩いて、ロボポリスとも何十対とすれ違った所ようやくロボポリス以外の何かが見えた、どうやら新しい部屋らしき物だろう。やっと警備室かと思い近づいて行き、改めて警備の異常さを知ったよ。

セキュリティスフィア（MM3）二体とゴーゴンホール（MM2）ぱつと見て30体程が受付っぱい前の通路で蠢いてるよ。

うん、ここ何処のラストダンジョンだよ？しかも警備室の先にエレベーター見えたけどどう見ても人間用だよ、戦車入れないでこの規模だと絶対に死ねる。BSコントローラーは絶対に外さない様しよう。

受付が有るって事は、確認作業をする為の部屋が設置されているって事だろう。もしかすると此処が警備室か？結構歩いたなー思ってたんだが全く疲れていない。

おかしいなーと思いシーツの位置をずらしてみたが、よく考えて

触ってみると全く汗をかいていない。当たり前だわ、機械に組み変わっているんだから。しかし戦闘用じゃなさそうなサイバーウェアでもこれ位なんでも無いのは素直に感動した。幾らなんでも距離も解らない位歩けば足は疲れるだろうし、年齢的にも腰に負担がかかる為^に肉体疲労がかなり来るし。こりゃ戦闘用じゃなくても強い体だわ、なんか気分良くなってきたぞー。

そして考え事を終わらせて扉の前に立つ。扉のプレートに「警備監視室」の記載が有る、しかもカードリーダーは無し。いよいよ歩き回って下が擦れたシーツ巻きともオサラバだよ！！わくわくしながら扉を開けると

ヨージンボーグ（MM3）が目の前に突っ立ってた。

うん、怖かったんだ。すつごく。

シーツ外れてるのもお構いなしで四つんばいで逃げて扉締めました。扉から出たところでセキュリティスフィアに睨まれたような感じでこっち見てきました。素っ裸で何やってんだこいつ、って目で訴えてる感じでした。

ヘタレで何が悪い！！『玄関開けたらヨージンボーグ』なんて想像してねえし、あの面構えは怖いんだよ。

警備室入るの辞めようかな……シーツの加工を悩み始めた瞬間である。

五話目（前書き）

寝起きで投稿。

なぜか頭の中に浮かんだので投稿。

最後のモンスターは最初の転生候補

MSシリーズで5本の指に入る位好きな敵。

最後に現在装備記載。

五話目

「やっべえ……シーツ向こう側だ」

ヨージンボーグ（MM3）と目を合わせること無く、腰を抜かして黒歴史生産しながら廊下に戻り、セキュリティスフィア（MM3）とかの眼が無いのに侮蔑の視線を感じながら、スッポンポンで一人呟く。

このままでは裸のまま生活することになってしまおう、【就業員諸室】のカードキー探しも終わらないので、気合を入れて【警備監視室】に入る。

やっぱりヨージンボーグが扉の前に立ってました。しかし構えるだけで攻撃の気配が無いので置物か何かだと頭の中で反芻して奥に進む。

【警備監視室】の中には監視用のパネル、操作コンソール、壁にキーボックス、カーテンで区切られている区画にベット2台、ロッカー6個、それにトイレにシャワールームと小さいながら倉庫と円筒型のカプセルっぽい何かと、部屋自体は【中央管理室】より一回り大きい部屋だった。

個人的に嬉しかった事はロッカーもそうだけど、ベットが有る事だ。【中央管理室】のカプセルでは最初のパニックもあってか、此处では寝れそうにないと感じていたから非常に有り難い。何かしらの怪我と言つか体に損傷を受けたらあそこに行かなければいけないそうだけど……

そしていよいよロッカーの搜索に入る。これで裸一貫からはオサラバだと楽しみながらロッカーを開けて、中身の確認に入る。

ロッカーの中には下着一式が3セット、警備員用制服上下、防弾ベスト一着、ブーツ型安全靴にスタンロッド一本、それにシヨットガンが一丁とホルスター付きのベルト、大きめのウエストポーチが入っていた。服はMM式に言くとウルブルーとぼうだんチョッキって所かなー、とりあえず着替えて裸からは脱却できたので良しとしよう。

ウエストポーチに履かなかった下着一式を入れ、ホルスターにシヨットガンシエルと警棒を入れて防弾ベストを着こみ装備を終わらせる。一応他のロッカーを開けたが同じものが入っていたため今回は持つて行かないで予備として置いておく。

警備用のパネルは現在も警備システムが作動中なので操作するのではなく、システムについて調べる。ここの警備システムは所属警備兵とマスター登録したユニットか人物、又は此処のプラント所属のサイバーウェア以外の入館者を抹殺するシステムであるという。

物騒ってレベルじゃねーぞこれ、しかも俺がマスター登録しちゃったし、警備兵なんて居ないから俺一人以外は全員殺しますってことじゃねーか！！

いくら兵站生産箇所とはいえやりすぎにも程があるだろ。ノアより味方側を殺しそうなシステムだなおい。

警備システムはこれ異常調べても仕様が無いし、変更も不可能なので見るものは無くなった。あとは壁についてるキーボックス位か。

円筒型カプセルは調べても判らなかつたのでほつとく。キーボックスに鍵は無くICカードも此処しか無さそうなので開けてみた。

ロッカーキーの束と透明ケースの中にカード発見。両方共取り出してウエストポーチを開けた所

カプセルが開き、マイトガイ(MS)が腰に手を当てて登場してきた。

何でさ……しかも全く喋らないで仁王立ちしてるし……

神様は何がしたかつたんだ？わけわかんねえよ……

五話目（後書き）

現在の装備

武器

E：ショットガン

E：電撃警棒

E：

頭

E：無し

体

E：トゥルーパー

腕

E：無し

足

E：あんぜんぐつ

プロテクター

E：ばうだんチョッキ

道具

BSコントローラー

おやじのパンツ？

ロッカーキーの束

ICカード（プラント）

六話目（前書き）

仕事中に考えてみた。

次の仕事も探さないと行けないのに。

やはり文才が欲しい。

マイトガイの立ち位置悩んでいます。

適当に決まるんだろうけど。

六話目

「……いや、何か喋ってくれ」

仁王立ちから動いて倉庫に向っていくマイトガイ（MS）に対しての率直な感想だった。

しかしなあ、俺の知ってるマイトガイとは少し違うんだよな。まず喋らないし、頭の爆薬も導火線なのかコードかは解らないが二本に分岐していて、その先にボタンが着いてる。アレはかなり危険だろー！しかも癖なのか左右に着いてるボタンの上をよく掻いてる。やっぱ自爆ボタンなんか？

少なくとも近づいたら巻き込まれて爆死確定だろうな、倉庫に行ってる間にさっさと逃げ出す事にしよう。何か倉庫でゴソゴソ探してるし、今ならいけるだろ。

【警備監視室】から出て【就業員諸室】に戻り始めるとなぜか後ろにぴったり付いてきやがった。って何でERAシールド構えたまままで付いて来てるの？しかもなんかシールドに+3とか書いてあるし。

こっちが振り向くとシールドに隠れるし、歩き出すとちょこちょこと付いて来る。付いて来るのが小動物とかなら萌えて可愛いんだろうけど、ムキムキマツチヨの爆弾頭が爆発反応装甲をこっちに向けて歩いてきても恐怖心しか出ねえよ。

つか、おかしいだろコレ。どう考えても不審者にも程があるだろ。

今までの警備は全部マシーン系で統一されてるのにこいつだけ正体不明だろうに。いや実際、種族も正体不明だけどさ。此処の警備システムは実はお飾りなのか？

悩みながら歩き続けて、後ろの物騒すぎるマイトガイも来なくていいのに付いて来て、【就業員諸室】の前に立つ。ん？そう言えばカードキーは一枚しかなかったよな……此処でカードキーを使って開けたあと、即座に閉めればこいつ入ってこれないじゃん！！

でも開けた後にアイツも直ぐに入りそうなんだよなー、どうしよう……そうだ、アイツはシールド構えて接近してるから、ショットガンをぶっぱなして怯んだ所でドアを閉めればいけるはず。大丈夫だ、きつといける。ショットガンを撃てば何でも解決する。其れが今の俺の考えだ！！

意を決して【就業員諸室】カードキーを開けて入る。

すぐさま振り返ってショットガンを構える。

そしてシールドに、ってあれ？アイツいねーじゃん。

後ろでまだちょこちょこ付いて来てる最中だった……意気込んだ意味ねえ！。

まずは扉を閉めよう。あの超危険物質の塊とずっと歩いて精神ガリガリ削られてたんだよねー。これで安心できるぜ。落ち着いたら【就業員諸室】内の探索に入ろう。どうやらここはオフィスと応接間、それにロッカールーム、シャワールーム、トイレ、小さいながらもキッチンまでついてるかなり広い部屋に成ってるし、相当時間かかるだろう。

まずはオフィス部の書類等の探索だが、碌なのがない。生産品目だ警備状況だのコンソールで調べた物や頭に入ってる内容のみで役に立たない。バインダーがあつたから将来は裏紙でメモ用紙確定だな。

次は応接間の探索だが、柔らかく座り心地のいいソファアが机を挟んで対面で置いてあるだけだった。そして机の上にダンボールが一箱。開けて見ることにすると、なんと自衛隊のカンメシこと戦闘糧食I型が満載に入ってるじゃないか！！

初食事ゲットに心躍り缶切りを探してダンボールのカンメシを机の上に開けていると、突然入り口の扉が開いた。

まさかアイツ開けたのか？と思い手にカンメシを持ったまま入口に向かうと、其処にはやはり居たよ……あの危険なマイトガイが。

しかも腕組みして立って動かないし。何で入れたのか聞こうとしたらイキナリ動き出して……

「……………あ、俺タクアン缶嫌いだから他のヨコセ。」

あゝあゝん、今何言いやがったコイツ。俺の好物侮辱したんか。

しかも第一声が其れかコラー!!とりあえず殴ろう。うん、話は其れが終わってからだな。

六話目（後書き）

ERAシールド（MSNF）

金属盾に爆発反応装甲（Explosive Reactive Armour）をつけたもの。

ソルジャー用装備だが＋3まで合成強化すると装備制限解放されて全職装備可能。

七話目（前書き）

風邪引きました。

しかも夜勤も重なった。

文才がほんとに欲しい。

そろそろ話を進めたい。

長文が書けない。

七話目

「はあ……なんでこうなったんだ」

現在、俺は対面に向き合ってカンメシをオカズにカンパンを貪り食ってる正体不明の物体を前に、どうしてこうなったかの確認をしよう。

「てめエ……第一声が俺の好物を侮辱するとはどう言う事だよ」

「いや、だってあれしょっぱい。しかも野菜だし、俺穀物以外食いたくナイシ」

「つーかさー、何で声掛けた時喋んなかったんだよ？」

「え、めんどかった、喋るのダルイ」

最後の一言でイラって来たので取りあえず攻撃をしようと思う。しかし頭に謎のボタンが2箇所もある上に、現在大事なカンメシを両手に持つてる状態では碌に攻撃が出来ない。

悩んだ末に脛を蹴る。軽くとはいえ安全ブーツの脛蹴りはかなり効くだろ。あ、なんか体制崩した、効いてる効いてると思ったら同じ行動をやり返してきやがった。

「何すんだよ、痛いじゃねえか」

「先にやったのお前ダロ」

「……お前が悪いだろ」

「お前ダロ」

「「……………」」

その後無言でお互いの脛を蹴りあうという子供のケンカみたいなのを暫く繰り返してから……互いに痛みが余り無い感じな為休戦して、このまま何もしないで立っていても仕方ないので、応接間まで行ってソファーに座り飯を食べながら話し合うことにしようとしたら、箱の中のカンパン食べまくって喋りやしねえ。

俺は確認の為と、ご飯が食べたい為に室内のキッチンへと向かってお湯の順備をする事に。

「あ、俺の分のご飯も湯煎しといてクレヤ」

ずつずつしいなこの爆弾頭。そんなことよりこの施設の従業員ス

ペースにライフラインが通っているか確認だしいとな。電気や給水が無いと生活なんて出来ないし。

キッチンに行き取り敢えず色々調べてみる。大型冷蔵庫二台に電気&ガスコンロ、ステンレスシンク、給水給湯蛇口、其れに調理器具一式まで有る。冷蔵庫内は何も入っていないかったのは残念だが、使用可能なだけで十分だわ。

給湯蛇口からお湯を出して鍋に入れ、カンメシを湯煎する。こうしないと食べれないしな。

十分温めたら取り出して応接間に持って行き爆弾頭に渡す。なんかそわそわしてるし、缶切りすっごい勢いで探してるよコイツ。まあいいや、俺もなんか食べよう。

そうして食事を済ませてから、目の前に居る爆弾頭と会話する予定だったんだが……コイツ大いびき掻いて寝やがった。しかも手を頭に当てて寝てるからボタン押しそうだし。

動かして爆発したら一巻の終わりなので、この危険物はほつといて残りのロッカールームの探索に入ろう。ロッカールームのロッカー全てに鍵が掛かっていたが、【警備監視室】のキーボックス内にあった鍵束で全部開錠出来た。

ロッカー内にあったのは道具中心で装備品は無く

回復ドリンク？10一箱

回復カプセル？12一箱

エナジーカプセル？6一箱

オイホロカプセル1瓶約30個入

といった基本的な回復系アイテムが中心で、

其れ以外の道具は

ゲンキデルZ2本や

ヤらしいポスター5枚

ベースボールカード30枚

ハツモータ2本

メカニックキット一箱

最後にわんわんグルメがなぜかロッカーにびっしりと詰まっていたりと道具はかなり入っていた。

かき集めた道具はロッカールーム内のキャリーに乗っけて応接室に置いておく、今は使用することもないだろうし。

シャワールームやトイレは調べる必要が無いのでほっといて【就業員諸室】の探索は終了。応接室の爆弾頭はそのまま放置して退室して、最後に【生産プラント監視所】に向かう。

【生産プラント監視所】に向かう最中に、又後ろから爆弾頭がERAシールド構えたまま付いて来るが無視だ無視、あれに関わるとめんどくさそうだし。

かなり歩いた所で【生産プラント監視所】に到着。警備システムが怖いけど、コンソールを操作して扉を開ける。マスター登録してから最初の入室の為、暫くお待ち下さいとの画像表示が。早く開いてくれ、アレが来ちまう。

爆弾頭が到着してから設定完了の表示が……遅いよ。どうせ入れないだろうと思うのでドアOPENに設定、設定したらスピーカーから合成音声が届いてきた。

「登録完了シマシタ、プラントマスター、プラント警備兵『マ・イトガイ』ノ入室ヲ認メマス」

お前警備兵だったの!!! しかも区切り其処なの? 更に何で入れるんだよ!!!

ツッコミ疲れてきた……俺も寝ようかな……

七話目（後書き）

アイテムは名前から解りやすい道具を選んで見ました。

オイホロカプセル

これを服用すると痛みを感じなくさせることができる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1350y/>

カオスにも程がある大破壊後

2011年11月17日19時01分発行